

第百拾號

讒謗律別冊之通被定候條此旨布告候事

明治八年六月廿八日

太政大臣三條實美

讒謗律

第一條

凡ソ事實ノ有無ヲ論セス人ノ榮譽ヲ害スヘキノ行事ヲ擿發公布スル者之ヲ讒毀トス人ノ行事ヲ譽ルニ非スノ惡名ヲ以テ人ニ加ヘ公布スル者之ヲ誹謗トス著作文書若クハ畫圖肖像ヲ用ヒ展觀シ若クハ發賣シ若クハ貼示ノ人ヲ讒毀シ若クハ誹謗スル者ハ下ノ條別ニ從テ罪ヲ科ス

第二條

第一條ノ所爲ヲ以テ乘輿ヲ犯スニ涉ル者ハ禁獄三月以上三年以下罰金五十圓以上千圓以下

二罰并セ科シ或ハ偏ヘニ一罰ヲ科ス以下之ニ倣ヘ

第三條

皇族ヲ犯スニ渉ル者ハ禁獄十五日以上二年半以下罰金十五圓以上七
百圓以下

第四條

官吏ノ職務ニ關シ讒毀スル者ハ禁獄十日以上二年以下罰金十圓以上
五百圓以下誹謗スル者ハ禁獄五日以上一年以下罰金五圓以上三百圓
以下

第五條

華士族平民ニ對スルヲ論セス讒毀スル者ハ禁獄七日以上一年半以下
罰金五圓以上三百圓以下誹謗スル者ハ罰金三圓以上百圓以下

第六條

法ニ依リ檢官若クハ法官ニ向テ罪犯ヲ告發シ若クハ証スル者ハ第一條ノ例ニアラス其ノ故造誣告シタル者ハ誣告律ニ依ル

第七條

若シ讒毀ヲ受ルノ事刑法ニ觸ル、者檢官ヨリ其事ヲ糾治スルカ若クハ讒毀スル者ヨリ檢官若クハ法官ニ告發シタル時ハ讒毀ノ罪ヲ治ムルコトヲ中止シ以テ事案ノ決ヲ候テ其ノ被告人罪ニ坐スル時ハ讒毀ノ罪ヲ論セス

若シ事刑法ニ觸レスノ單ヘニ人ノ榮譽ヲ害スル者ハ讒毀スルノ後官ニ告發スト雖モ仍ホ讒毀ノ罪ヲ治ム

第八條

凡ソ讒毀誹謗ノ第四條第五條ニ係ル者ハ被害ノ官民自ラ告ルヲ待テ

0392

乃
子
論
ス

四